

議会だより

3月定例会の あらまし

定例会は、3月1日から3月17日までの17日間の会期で開催されました。

平成29年度藤岡市一般会計予算など55議案が提出されました。

◆1・2目〇本会議 会期の決定、市長提出議案55件を上程、うち42議案を即決。

◆3目〇教務厚生常任委員会。

◆8目〇本会議 一般質問。

◆14・15目〇予算特別委員会。

◆17目〇本会議 委員会付託議案13件を可決。

議案等審議結果〈3月定例会〉

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告1号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
報告2号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
諮問1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(多数)
第1号	教育委員会委員の任命について	同意 (全員)
第2号	三波川財産区管理会委員の選任について	同意 (全員)
第3号	藤岡市地区コミュニティセンター等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決 (全員)
第4号	藤岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決 (全員)
第5号	藤岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決 (全員)
第6号	藤岡市空き家等の適正管理に関する条例の全部改正について	可決 (多数)
第7号	藤岡市税条例等の一部改正について	可決 (多数)
第8号	藤岡市介護保険条例の一部改正について	可決 (全員)
第9号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	可決 (全員)
第10号	藤岡市中小企業設備近代化資金融資促進条例の一部改正について	可決 (全員)
第11号	藤岡市山村活性化支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決 (全員)
第12号	三波川第2コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決 (全員)
第13号	藤岡市過疎地域自立促進計画の一部変更について	可決 (全員)
第14号	財産の譲与について	可決 (全員)
第15号	財産の譲与について	可決 (全員)
第16号	財産の譲与について	可決 (全員)
第17号	財産の譲与について	可決 (全員)
第18号	財産の譲与について	可決 (全員)
第19号	財産の譲与について	可決 (全員)
第20号	財産の譲与について	可決 (全員)
第21号	財産の譲与について	可決 (全員)
第22号	財産の譲与について	可決 (全員)
第23号	財産の譲与について	可決 (全員)
第24号	財産の取得について	可決 (多数)
第25号	財産の取得について	可決 (多数)
第26号	市道路線の廃止について	可決 (全員)
第27号	市道路線の認定について	可決 (全員)
第28号	平成28年度藤岡市一般会計補正予算 (第3号)	可決 (全員)
第29号	平成28年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算 (第3号)	可決 (全員)
第30号	平成28年度藤岡市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全員)
第31号	平成28年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算 (第3号)	可決 (全員)
第32号	平成28年度藤岡市介護老人保健施設特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全員)
第33号	平成28年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全員)
第34号	平成28年度藤岡市学校給食センター事業特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全員)
第35号	平成28年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全員)
第36号	平成28年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全員)
第37号	平成28年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全員)
第38号	平成28年度藤岡市水道事業会計補正予算 (第1号)	可決 (全員)
第39号	平成28年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計補正予算 (第1号)	可決 (全員)
第40号	平成29年度藤岡市一般会計予算	可決 (多数)
第41号	平成29年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決 (多数)
第42号	平成29年度藤岡市後期高齢者医療特別会計予算	可決 (多数)
第43号	平成29年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	可決 (多数)
第44号	平成29年度藤岡市介護老人保健施設特別会計予算	可決 (全員)
第45号	平成29年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決 (全員)
第46号	平成29年度藤岡市学校給食センター事業特別会計予算	可決 (全員)
第47号	平成29年度藤岡市下水道事業特別会計予算	可決 (全員)
第48号	平成29年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可決 (全員)
第49号	平成29年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算	可決 (全員)
第50号	平成29年度藤岡市三波川財産区特別会計予算	可決 (全員)
第51号	平成29年度藤岡市水道事業会計予算	可決 (多数)
第52号	平成29年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計予算	可決 (全員)
選 挙		
第1号	多野藤岡医療事務市町村組合議会議員の補欠選挙	当 選
請 願		
第1号	災害ボランティア割引制度に関する意見書提出を求める請願	趣旨採択(多数)
第2号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願	不採択 (少数)

日野小学校について

丸山 保

問 日野小学校の児童数は現在33名で市内の中では一番少なく、複式学級を行なっているとのこと聞きました。児童数が少ないため、授業や放課後の活動にも影響があるのではないかと大変不安です。児童の運動活動等の状況について伺います。

答 児童数は現在33名、平成29年度は23名の見込みで減少傾向にあります。こうした事情から平成29年度は、中・高学年に加え低学年も複式学級になります。複式学級は学年ごとにきめ細やかな指導を行なうことができる体制を整えています。

市教育委員会の方針である地域連携の強化ということで、保護者や地域の方々、子供にかかわる全ての人達が地域全体で子供を育てることを大切にしています。

藤岡市高齢者福祉計画について

問 介護保険料が高いので

世帯分離をしたら安くなったと言っ話を聞きます。段階別保険料では住民税非課税世帯でも世帯構成員により保険料に大きな差が出ています。例えば、本人は課税年金収入と他所得で800万円以下であれば年額28900円ですが、住民税課税者と同居をしていると57900円となり、29000円の相違が出てきます。この納付を避けるため、住民基本台帳上世帯分離をすることです。こうした方法は負担能力に応じた負担という制度の意義に反する

とともに、保険料収納にも影響すると考えられます。住民基本台帳法上の問題もあると思いますが、本市はこうした実態を把握しているか伺います。

答 住民基本台帳法での世帯分離の可否については、市民課窓口にて世帯分離の届け出があった場合、居住と生計をともにする社会生活上の単位を世帯としているので、この要件を満たしていれば分離はできませんが、事実、生計を別にしてい

ば分離は可能ですので届け出については受理をします。



予算・決算の「見える化」と財政の健全化について

小西 貴子

問 本市の現状を伺います。

答 広報、ホームページ等で財政状況の公表を行っています。また、国において地方公会計改革の推進が掲げられ、本市も総務省の求めに応じ平成21年度から財務諸表の公表を行って

問 財務諸表を予算編成等に活用し、財政の柔軟性を上げるべきと考えますが、見解を伺います。

答 本市における地方公会計制度については、総務省方式改訂モデルに基づき作成してきましたが、平成29年度から新公会計制度に切りかえをする予定です。今後、予算編成等に活用していけるか、引き続き調査研究したいと考えています。

問 公共工事発注金額の「見える化」、施工現場への工事金額の表示について伺います。

答 市民への公共事業の透明性の確保等は重要なことと認識していますので、他市の状況等を調査し、検討していきたいと考えています。

められると考えますが、見解を伺います。

答 財政運営はこれまで以上に厳しい対応が迫られています。行財政基盤の強化に努め、自主財源の確保に向け、市税の収納対策、工業団地の造成や企業誘致の促進、未利用地の処分等、その他収入の確保に努めます。



認知症対策について

内田 裕美子

問 認知症の人が暮らしやすい地域づくりのためには、地域において広く認知症に対する理解を深めていくことが大切です。本市の認知症サポーターは、人口に占め、多くの市民の皆様が受講いただくとともに、認知症サポーターの方が活躍できる場を設けるべきだと思いますが、考えを伺います。

答 平成29年2月に、藤岡警察署及び近隣自治体と協力、連携することを目的とし、認知症徘徊高齢者等の保護対策に係る協定を締結しました。また、市内の郵便局と高齢者の見守りに関する内容を含んだ協定を提携する予定で、現在準備を進めています。

問 今後も積極的に認知症サポーターについて周知を図り、多くの市民に講座を受講していただきたいと考えます。また、認知症サポーターの活躍の場の一つとして、認知症カフェの設置を検討していますので、こうした場所に参加していただき、認知症の人にやさしい地域づくりを進めていきたいと考えています。

問 高齢者の自宅を訪れる機会の多い郵便局、新聞販

売店、宅配事業者、ライフライン事業者、認知症サポーターなど多くの事業者や市民にも協力していただき徘徊不明者の捜索協力体制及び高齢者の見守り体制を構築すべきと思いますが、考えを伺います。

答 今後、ライフライン事業者等にもご協力をいただきながら、高齢者の見守り体制の構築を進めていきたいと考えます。

子育て支援の充実について

問 子育てと仕事の両立をかなえるためにも、安心して市内に住み続けられるように病児保育を設置し、環境を整え、子育て世帯を支

援すべきと思いますが、考えを伺います。

答 早急な実施は難しいと考えますが、必要とする保護者が確実にいるということとは承知しておりますので、今後は体制の整備などについて調査研究していきたいと考えています。



交通政策について

中澤 秀平

問 藤岡市政において交通政策をどのように位置づけているのか伺います。

答 交通政策については、特に公共交通にあつては、移動手段を持たない方への対応として、総合計画でも安全安心なまちづくりの基本として重要な施策と捉えています。

問 介護高齢課では高齢者の移動支援を含めた地域の支え合い体制の協議をしています。高年齢者の移動支援について、検討状況を伺います。

答 高齢者の移動支援については、ニーズとして挙がっており協議をしましたが、解決しなければならぬ課題が多く、現在検討を中断している状況です。

問 市内の状況から、バス路線拡充やタクシー券の補助が必要と思いますが、今後の考えを伺います。

答 バス路線の見直し、タクシー券の補助につきましては、研究を行っているところですので。

学校給食について

問 本市では学校給食費の完全無償化についてどのように考えているか伺います。

答 本市が学校給食費の無償化を実施するためには、概算で2億5000万円以

上の一般財源が必要となります。市の財政状況を考慮すると、現状では非常に困難であり、当面学校給食費の無償化を実施する考えはありません。

問 学校給食費の無償化について、県内の状況を伺います。

答 県内では、南牧村、上野村、神流町、婦恋村が学校給食費の無償化を実施しており、前橋市や桐生市、富岡市などが第3子以降、安中市では第3子以降と中学校3年生の給食費を対象に無償化に取り組んでいます。平成29年度からは洪川市とみどり市でも学校給食費の無償化が予定されています。



市民の健康づくりについて

こいつ

窪田 行隆

問 市民の健康寿命を延ばすため、健康づくりが大切です。データヘルス計画での分析から、糖尿病の重症化を予防し、人工透析が必要になるのを防ぐことが重要です。糖尿病性腎症重症化予防プログラムの、かかりつけ医や専門医との連携実施が大切と思いますが、考えを伺います。

答 市では県と連携し、糖尿病にかかる調査、分析等に取り組んでいます。今後は現在実施中の施策に、その結果を反映させたいと考えています。

問 健康づくりへの市民の主体性を引き出す取り組みとして、健康マイレージ事業が全国で実施されています。この事業は健康診断の受診などの健康づくりメニューへの参加でポイントを貯めて、ポイント数に応じた特典を受けられる制度で、楽しみながら健康づくりに

取り組んでもらえます。この事業を実施するべきと思いますが、考えを伺います。

答 大切なのは、市民の「自分の健康は自分で守る」という意識の向上を図ることと考えます。健康マイレージ事業は、健診等に対する意欲を向上させるものだと考えます。この事業を今後とも研究していくとともに、より健診等に参加しやすい環境づくりに努めたいと考えています。

問 歯周病にかかると心疾患や糖尿病のリスクが高まるなど、全身の疾患との関係があり、歯が早く抜けることで健康寿命にも影響します。歯周病予防はさまざまな病気を予防し健康を維持するために重要です。本市では歯周病検診が集団検診のみで、特に現役世代は受診が困難と思われる。歯科医院での個別検診方式で受診できるようにすべきと思いますが、考えを伺います。

答 個別検診は、集団検診

に比べれば時間の融通がきき、受けたい時に、かかりつけの歯科医で受けられることから、現役世代のメリットは大きいと思われます。歯周病検診の重要性の普及啓発に努めていくとともに、個別検診について費用等を確認しながら、実施する必要性があるか検討していきたいと考えています。



藤岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

こいつ

茂木 光雄

問 市街地再生と市街化調整区域の開発について伺います。

答 旧多野会館は、昭和13年に多野郡の産業組合などの事業所として多野郡18町村が共同で建築した昭和の帝冠様式を伝える建物で、在地は私立甲種高山社産業

学校の跡地です。市として建物を取得し整備した場合、耐震補強を含めた修復等の工事は約8億円、土地取得で約2億円かかることから、保存活用を図るのは困難と判断しました。

市街化調整区域の開発については、国道17号、国道254号、前橋長瀬バイパス沿いを平成21年に指定路線区域に指定し、流通業務施設の開発が可能となり、さらに平成25年には産業振興市となり、衣料品や流通機械などの技術先端型業種の工場や研究所なども立地可能になりました。市街化調整区域や、沿線道路沿いの開発の関係について、市として用地調査をできる範囲で少し検討していきたいと思っています。

502藤岡市について

問 駐車場不足と花の交流館改修について伺います。

答 平成12年4月オープン当初は、一般駐車場357台、有料駐車場106台の駐車スペースを整備しまし

たが、年々利用者の増加に伴い駐車場不足となり、解決に向けて取り組んでいます。有料駐車場は、平成19年度に増設工事を行い、現在218台となっております。一般駐車場は、舗装工事にあわせて区画の見直しを行い、436台の駐車スペースとなっております。第1駐車場と第2駐車場は行き来することができないので、敷地の形状、普通車や大型車、バスの通行状況、歩行者の動線などを考えて、お客様が安全に利用していただける方法を検討していきたいと考えています。

花の交流館の改修内容については、出入口の変更及び増設、トイレの改修、エアコン機器を撤去した機械室2室を店舗とするものです。今回の改修で、施設全体の動線の向上を図ることができ、花の交流館に花の展示販売を集約することができました。



ふるさと納税について

橋本 新一

問 本市の返礼品による地場産業の活性化について伺います。

答 返礼品は市と意欲のある業者が協力し、本市の魅力や地元特産品のPR、ブランド力の向上、市内産業の活性化を目的として開始しました。返礼品発送時には、返礼品以外のカタログ等も送付して、自社商品のPRとともに販路拡大に役立っています。

毛野国白石丘陵公園について

問 史跡整備事業の現状について伺います。

答 平成9年度にまとめられた史跡整備基本計画書に沿って進めており、所管する約11・8ヘクタールについては、公園北側アクセスの七輿の門が平成14年、藤岡歴史館が平成16年に開館しました。史跡部分に当たる約10ヘクタールについて

は、平成23年度で用地買収は完了しました。史跡整備第1期事業として、整備に向けた基礎データを収集するため、平成24年度には平井地区2号、2号北古墳、平成25・26年度は皇子塚古墳、平成27年度は平井地区1号古墳の確認調査を実施しました。

問 公園整備事業の課題と今後の見通しについて伺います。

答 既に供用開始している1期区域約2・4ヘクタールと、事業中の2期区域約6ヘクタールが平成32年度末に完了すれば、供用面積は約8・4ヘクタールとなり、公園区域面積約18・3ヘクタールのうち46%の供用開始が見込まれます。

現在把握している総事業費は約42億円で、内訳として工事費は1・2期事業の実績値を参考に約14億円、用地補償費は約28億円になります。全体事業に対する平成29年度末時点の執行額は約15億円で、執行率は事業費ベースで約36%となっ

ています。平成15年度から事業を開始し、現在まで1年かけて全体事業の3分の1程度ということになります。

都市公園事業として事業執行していることから、事業の進捗率を高めるには、さらなる国庫補助金の確保が課題となっています。



市民窓口について

野口 靖

問 諸手続が1階フロアで一元化できないか伺います。

答 一元化にできない理由として、各帳票の発行に対してお客様に細かく説明を求められることが多くなってきたこと、また、パスワードやマイナンバーカード等の移譲事務が追加になったこと等が挙げられます。

問 申請手続の多い部署では、担当職員を1階フロアに配置して、市民の方が移動しなくても手続ができるように改善する考えがあるか伺います。

答 現状はスペースの問題、関連するシステムの問題もあり、非常に難しいのではないかと考えます。

問 コールセンターの設置により、一つの窓口で全ての手続の内容の案内ができるような取り組みを実施する考えがあるか伺います。

答 コールセンターを設置して、市民から頻繁に尋ねられる質問に対して回答できるようにするために、電話回線数の増設と電話交換手の増員が必要になります。

また、昨年から導入したダイヤルインにより、問い合わせをしたい担当課へ直接電話をかけられるようになり、今年度のダイヤルインの利用者は、市役所全体の1日当たり平均受信件数約650件のうち40%から45%近くの人々が利用しており、一

定の効果が得られていると考えますので、コールセンターの設置は考えていません。

桜井公園について

問 冬桜は本市の家徴の花でもありますが、今後、公園の整備をどのように取り組んで行くのか考えを伺います。

答 樹勢回復のための管理計画を着実に実行し、その結果を評価し、逐次見直しを行いながら、その保護に一層の努力を注いでいきます。また、園路の整備や新たな場所への桜の植樹により、高齢者、障害者の皆様に優しいユニバーサルデザイン化に向けて整備を進めていきたいと考えています。



市議会を傍聴しませんか？

議会は、3・6・9・12月の定例会と随時に開催する臨時会があります。

◎本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付（市役所2階 議会事務局前）で、受付簿に住所、氏名を記載し、番号札を持って入場します。

傍聴される方に議案集の貸し出しも行っています。

傍聴人の定員は58人です。

◎委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市ホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

■6月定例会（予定）

月 日	時 間	摘 要
6月8日(木)	10:00	本 会 議
6月9日(金)	10:00	本 会 議
6月12日(月)	10:00	常任委員会
6月13日(火)	10:00	常任委員会
6月16日(金)	10:00	一 般 質 問
6月19日(月)	10:00	一 般 質 問
6月21日(水)	10:00	本 会 議

問い合わせ ▶ 市議会事務局 ☎40-2377

議会中継をご覧ください

藤岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、インターネットによる録画配信を行っています。

藤岡市議会のホームページから、議会中継を見ることができます。

現在、インターネットで配信されている映像は、平成25年第4回定例会から、3月8日に行われた平成29年第1回定例会（今号掲載分）までの一般質問の様子です。

ぜひ、ご覧ください。

議会中継

録画放映
をクリック

教務厚生常任委員会所管調査

調査日 ●平成28年8月9日(火)

鬼石病院について

鬼石病院の経営状況並びに医療体制の現状を把握し、今後の病院運営について調査実施しました。

平成28年4月1日現在の病床数は、一般病床52床、療養病床47床、合計99床です。また、医師4名、技師18名、看護師55名、介護福祉士6名、事務10名の合計93名体制で、主に内科、外科の診療を行い、整形外科、眼科等は群馬大学からの派遣医師により診療を行っています。

平成27年度の外来患者は28783人、入院患者は30366人です。一般会計から病院会計への繰出金は、平成27年度が1億822万円、国からの交付税が2億15

00万円です。

診療の指定では、保険医療機関、労災保険指定、結核予防法、生活保護法、特定疾患、原爆被爆者一般疾病医療機関、救急告示病院の指定を受けており、この体制を維持しながら、併設の老人保健施設との連携、訪問看護ステーションの設置、老人ホームやサービスつき高齢者住宅への往診など、地域包括ケアを積極的に進めています。

課題と対策については、人口減少に伴い外来者数の減少、入院患者の減少が病院経営に大きく影響します。また、国の医療費抑制政策による診療報酬の改定があり、本院のような過疎地域における高齢者がほとんどを占める慢性期医療を展開する病院にとっては、大きな

影響を受けるものとなります。

医師不足も大きな問題で、平成28年4月1日付の医師数等に関する調査でも、群馬県では常勤・非常勤合わせて334・4人の医師が不足であるという結果が出ており、本院としても対策に迫られています。

このほか、一般会計からの繰出金についても、過疎、山間へき地への医療サービスの提供をどの程度適切に維持できるかということにかかわる大きな要因です。

診療報酬改定の対策としては、平成26年度の診療報酬の改定により、地域包括ケア入院料が新たに創設され、本院ではいち早くその基準取得を進め、平成26年8月より18床、平成27年1月より52

床の取得をし、運用することができたことで、収益の改善を図っています。医師不足では、群馬大学からの派遣としていますが、群馬大学側の課題もあるなか、民間の人材派遣会社への依頼も進めています。



委員長	岩崎 和則
副委員長	小西 貴子
委員	中澤 秀平
委員	大久保協城
委員	松村 晋之
委員	山田 朱美

編集後記

風薫る、さわやかな季節となりました。

第1回定例会では平成29年度一般会計予算をはじめ、各議案の議決を行いました。一般質問では8名の議員により、活発な議論が行なわれました。

現在の編集委員による議会だよりは、今号が最後となります。今後も議会と市民の架け橋となれるよう、取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

議会だより編集委員会

委員長	窪田 行隆
副委員長	中澤 秀平
委員	野口 靖
委員	松村 晋之
委員	青木 貴俊
委員	岩崎 和則
委員	佐藤 淳
委員	冬木 一俊